

06

森林の話と箸作り

津市立大里小学校



森林の話（林業のサイクル）



原木にふれて林業の現場を実感



小刀で鉛筆を削る練習



マイ箸作りのために角まで丁寧に磨いています

ねらい

- ・ 森林の働きと林業、木を使う意義を知る
- ・ 木材を使うことのよさ、木の加工のしやすさを学ぶ

取組内容

社会科の授業に関連して、森林の働きについて学びました。間伐など木を切ることで環境を壊していると思っていた児童が、森を手入れすることで、環境を守っているということに気づくことができました。また、普段、身近にない林業という仕事について学び、林業に興味を示す児童もいました。

箸作りでは、木の香りを感じながら、自分だけの箸を作り、木材の加工のしやすさや、木材が使われているものに興味を持つことができました。また、小刀を初めて使う子どもが多かったのですが、この体験を通じて、角度を変えながら鉛筆を削ることができるようになりました。

内 容	・ 森林の話 ・ マイ箸作り
時 間	2 時間（社会科）
場 所	多目的ホール
対 象	5 年生 39 人
講 師	森のせんせい：中勢森林組合
備 考	みえ森づくりサポートセンターによる森林環境教育・木育出前授業

【先生のコメント】 森林の話は、児童が初めて知ることも多く、とても勉強になったようです。工作では、真剣に、楽しくできて木材が身近なものだと感じることができました。